

主な記事

- 2面 第6回会員デビュー講演
- 3面 歯科で使う救急薬品
- 4面 保険審査通信
- 5面 個別指導開示資料
- 6面 ハンセン病と人権
- 7面 全国シェルターシンポジウム案内
- 11面 “人間と性” 教育研究協議会①

今月の会員数/978人(医科764人・歯科214人)

石川保険医新聞

発行所 石川県保険医協会

〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
☎(076) 222-5373 番 FAX(076) 231-5156 番
編集部E-mail; iskw_sugino@doc-net.or.jp
発行人 井沢宏夫
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

歯科口腔外科部長の
宮田勝先生



石川県立中央病院から
二人の講師をお招きして



呼吸器内科診療部長の
西耕一先生

Sleep Apnea Syndrome

講演会

睡眠時無呼吸症候群

内科・歯科の講師と 各科参加者が交流

理事 平田 米里 (野々市町・歯科)

七月十九日(土)金沢都ホテルで、講師に石川県立中央病院呼吸器内科診療部長の西耕一先生と同病院歯科口腔外科部長の宮田勝先生をお招きし、睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome)の講演会を開催した。

このテーマは、最近、医科歯科共に関心が高まっているもので、会場には、医

事、平田 米里(野々市町・歯科) 一九九三年の報告では、慢性的な睡眠障害は約四千人、常時睡眠不足者は数百万人、直接間接の経済的損失も、おおよそ二百億ドルにも達すると推計されている。日本も推して知るべし。

睡眠障害の主な原因はSASで、そのイメージはBMI値の大きい男性で、睡眠中のいびき、無呼吸、低酸素血症、重度の断眠、昼間の眠気等が主なものとなる。

また、無呼吸ばかりでなく低呼吸(hypopnea)をも加えた睡眠時無呼吸低呼吸症候群(SAHS)としての捉え方が実際的とのこととで、詳しい解説がされた。特に注目を引いた点は、脳血管障害(四倍)、心疾患(三倍)、高血圧(二倍)の合併症リスクがあり、そのまま放置すると九年で四割の人が亡くなるという報告であった。

SAHSの確定診断は、ポリソムグラフィーによるほかは無く、生命予後改善の効果が証明された治療法は、今のところ鼻CPAP療法しかないとのこと。しかし、使用の居心地の悪さもあり、どうしても使い切

れない人には、歯科器具(スプリント)も選択肢に入れることになるとのこと。この点は歯科には嬉しい話で、宮田先生もお話しされたように、旅行にも携



医師・歯科医師・歯科技工士ら31人が参加
(7月19日・金沢都ホテル)

帯でできる簡便さが魅力的で、効果も十分期待できる。歯科が作るスリープスプリントは内科医の診断のもとに作製できるもので、装着

の後も、スプリントが効果的か否かを十分診る必要があることは極めて大切で、装着後の経過診断は欠くべからざるものと結論された。理由は、報告によると一三％に、より悪化する場合があるからである。

今回珍しく、このスプリントを作製する立場にある歯科技工士さんも参加され、歯科界の関心の高さが窺われた。歯科における協会としてのスタンスは、この講演で十分理解できたであろう。

お二人の講演の後、内科医から精神科領域の疾患との鑑別に関する質問や耳鼻科からの意見、そして歯科からの体験報告など活発に発言があり、それに答える講師陣の返事も頷ける内容で、内容は面白く深まった。保険医協会ならではの良い企画と自画自賛したい。

『公費負担医療等の手引』 説明会

日時 2003年9月23日(祝)
(午前10時~午後0時30分)

場所 金沢都ホテル 5階 兼六の間
(JR金沢駅正面 TEL076-261-2111)

講師 石川県保険医協会講師団

テキスト 『公費負担医療等の手引』2003年9月版
『在宅医療点数の手引』
追補版(2003年7月発行)

参加費 会員医療機関
1人 2,000円(テキスト代込み)

参加対象 会員、スタッフ
(未入会医療機関の方は、当日までにご入会ください)

お申込みはお早めに石川県保険医協会までお願いします
電話:076(222)5373 FAX:076(231)5156
E-mail:iskw_kudo@doc-net.or.jp

医心凡語

今夏、火星が地球に大接近した。火星が地球に接近するのは、地球の公転周期が三百六十五日、火星は六百八十七日であるため、地球は周期的に火星に追い付き追い越すことを繰り返している。地球が火星を追い越すとき、太陽、地球、火星は一直線上に並ぶ。このときに地球と火星は近づくのである。次の接近まで約二年二カ月かかる。このときの距離は一様ではない。それは、地球の軌道がほぼ円であるのに対して、火星は楕円であるため、軌道と軌道の間隔が場所によって大きく異なるからである。

今年には六万年ぶりの超大接近で、実にネアンデルタール人が生きていた時代以来となる。午後十時以降、南東の方向に肉眼でも百メートル先のロウソクぐらいに見えるので、倍率五十倍程度の望遠鏡で火星の模様まで、はっきりと観察できる。最接近は八月二十七日午後十一時二十七分、金沢では曇りで、残念であった。しかし、九月いっぱいまでは南東の空に肉眼でも明るく光って見える。次の大接近は二二八七年というから、このチャンスは逃さないぞと意気込んでいる。ちょっと前までは火星人がいると信じられていた、地球に最も似ている惑星。次の大接近の時は、ひよっとしたら火星ツアーが計画されているかもしれないと想像すると楽しい。残念ながら間違

第6回会員デビュー講演・シンポジウム

3人の講師、珠玉の言葉で講演

——明日の診療への気力湧く内容で——

理事 小川 滋彦 (金沢市・内科)

八月二十六日(火)金沢都ホテルにおいて、「第六回会員デビュー講演・シンポジウム」が開催された。ご存じの通りこの企画は、比較的最近に開業医になった新しい会員三人に「どういふ夢を感じて開業医になったのか」「これからの足跡とこれから何をしたいのか」を約二十分ずつ講演いただき、最後にシンポジウム形式で参加者と意見交換することによって、会員がお互いに刺激し合い、親睦を深めようというものである。

井沢宏夫会長のこの会に寄せる期待を述べた開会のあいさつの後、演題一は、整形外科の三平伸一氏により「整形外科無床診療所開業」について、「完全に治らなくて、自分の思う最善は患者さんにとって最善とは限らない」「手術することなく寛解に導く医師が良い医師である」という内容で話された。

演題二は、内科の納藤眞生氏により「聴診器一本と自転車一台の開業」と題して、脱サラを決意し四十歳を過ぎて開業、というご自身の経歴に触れつつ、印象に残る患者さんのエピソード―患者さんとの交流と描くクリニックの将来像との整合性への考察、院外処方か院内処方か、人材派遣会社のこと等々、氏のまさに「開業プロジェクト」の微に入り細に入り語られる内容は、これから開業を志す勤務医の先生方にこそ聞いていただきたいものであった。

今回も前回同様こじんまりと二十人程度の参加者であったが、どの講師の話



講師陣は左から三平伸一会員、納藤眞生会員、中山渉会員 (8月26日・金沢都ホテル)

第9回理事会点描

膨大な討議内容 深夜に及んで

(9月2日・10人出席)

第九回理事会は、前回は夏休みだったことと診療報酬改定が近づいたことなどにより、膨大な討議内容となった。

報告事項の主なものは、総務部…会員数四人減！会員増の応援に保団連より事務局員が駆けつけてくれること、事務所移転問題、メールニュースの開始、太陽生命株の取り扱い、事務局員給与問題など。歯科部…盛況だったサタデイナイトセミナー、小児糖尿病サマーカーニバルへの協力。学術保険部…第六回会員デビュー講演・シンポジウムの報告と今後の進め方、「公費負担医療等の手引き説明会」の準備、医師とコ・メディカルの報酬改定をめぐる動向と保

【西田 記】

も日々を円滑に過ごせれば満足」といった貴重な提言を、「外来患者さんが教えてくれたこと」と謙虚に述べる氏の姿勢に大変好感が持てた。

演題三は、心療内科・精神科を開業する中山渉氏により「開業プロジェクトの始まりから開院二年間の歩み」というタイトルで講演いただいた。精神科病院に勤務していた時期の厳しい現実を押しつぶされそうになりながら、自らの理想とする医療を開業という形態に見出すまでの「葛藤」からはじまり、立地条件と夢に描くクリニックの将来像との整合性への考察、院外処方か院内処方か、人材派遣会社のこと等々、氏のまさに「開業プロジェクト」の微に入り細に入り語られる内容は、これから開業を志す勤務医の先生方にこそ聞いていただきたいものであった。

今回も前回同様こじんまりと二十人程度の参加者であったが、どの講師の話

正確な現状理解から社会保障再構築の論理を探る

新刊案内

社会保障の市場化・営利化

著者 横山寿一

推薦者 会長 井沢 宏夫(金沢市・内科)



4-6判・上製/214頁 本体2,000円(税・送料別)
◎お申し込みは協会まで
TEL:076-222-5373/FAX:076-231-5156

本書は小泉内閣の「構造改革」の本質を説き、社会保障全体の改革と、それをめぐる対抗を制度ごとに詳細に学問的に説いたものである。

健康保険法の改悪や介護保険の矛盾などを、社会保障全体の中でもっと深めて学びたい方や、一度きちんと論理的にまとめて知りたい方にはうってつけの書物と思う。会員諸兄諸姉のご一読をお薦めする。

社会保障セミナー 今後の開催計画

●とき/11月6日(木) 午後7時半～午後9時半
●ところ/金沢都ホテル 5階「蓬莱の間」
●助言者/金沢大学法学部教授 井上英夫氏

ゼミナール3

◆テーマ
ハンセン病と人権(その2)
(変更になりました。)

■参加ご希望の方は協会までお電話で
TEL076(222)5373

歯科 サタダイナイト セミナー

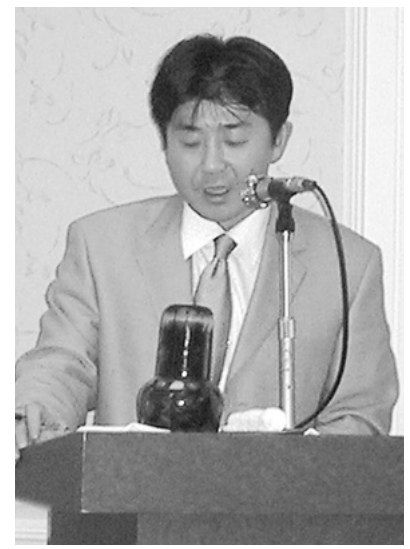
全身管理学の修得が 必要な時代に

歯科で使う救急薬品の解説と実際

津田 謹誠 (津幡町・歯科)



講師のやわたメディカルセンター
歯科口腔外科医長の中新敏彦先生



セミナーを企画し、司会を務めた
津田謹誠歯科部員

八月九日(土)午後七時から九時半まで金沢都ホテルで「歯科で使う救急薬品の解説と実際」と題した講演を開催しました。講師には、やわたメディカルセンター歯科口腔外科医長の中新敏彦先生をお招きし、歯科医師二十五人が参加しました。

まず最初に、各歯科医院に配布・保管されている救急薬品について、各々適応・効用・使用法を説明されました(表参考)。また、補足として、①硫酸アトロピン②麻酔前投薬とし唾液・気道分泌液の抑制に使用される。③塩酸エフェドリン④気管支拡張鎮咳剤であり、エピネフリンとの併用は禁忌である。⑤ノルアドレナリン⑥起立性低血圧またはショック時の補助治療薬として使用する。

①硫酸アトロピン ②ニトロール・ニトロペン ③狭心症用薬剤であるが、効果がみられない場合は、心筋梗塞が疑われ、救急蘇生と、病院移送が必要である。④セルシン(ホリゾン)⑤不安・興奮・抑

次に各病気に對しての病態および対処法を解説されました。①糖尿病②歯科の急性増悪として、精神的ストレス・疼痛による内因性カテコールアミンの増加、血管収縮薬が原因となる糖代謝亢進による高血糖、脱水・ケトアシドーシスあるいは治療前の禁食による低血糖である。対処法として糖尿病性昏睡と低血糖を区別することは困難である。ブドウ糖の静注か砂糖の経口摂取を行う。低血糖では、

すぐに意識の回復がみられ、昏睡の場合には不変であり、インシュリンの皮下注射か静注と大量の輸液を行う。③狭心症④歯科の急性増悪として、疼痛、不安、興奮による内因性カテコールアミンの分泌増加、血管収縮薬による冠動脈の攣縮、冠動脈狭窄のための絶対的、相対的冠血流量の減少が原因で、症状としては胸部と頸部から左上肢へ放射する疼痛があり五〜十五分で消失する。対処法としては、酸素吸入とともに亜硝酸剤の舌下投与により一〜十五分で痛みは緩解する。⑤脳卒中⑥虚血性脳卒中

意識の確認 NO. → ABCD施行 → 救急車
YES. → 頭を低くする → 深呼吸の指示 → 血圧・脈拍のチェック → 原因の追及 → 救急車

異常発生 → 顔面紅潮、嘔吐、強烈な頭痛 → 無理に動かさない。生命に関わる重要な事態が起こっている可能性がある(脳内出血など) → 救急車

異常発生 → 気分が悪い、吐き気、頭痛、胸が苦しい、胸が痛い、チアノーゼ、顔色が悪い(蒼白)、けいれん、呼吸困難、発汗、etc. → 救急車

意識の確認 NO. → ABCD施行 → 救急車

意識の確認 YES. → 血圧計を巻く、チェアを水平にする → はっきりしている、ぼーっとしている → 救急車

頭を低くする → 低血糖発作 → 甘いものを投与 → 救急車

深呼吸の指示 → 高血圧発作 → アダラートの投与 → 救急車

血圧・脈拍のチェック → 血圧、脈拍ともに上昇 → 原因の追及 → 救急車

血圧・脈拍ともに正常(脈拍は上昇することもある) → 呼吸状態 → 正常または、変化なし → 経過をみる → 救急車

血圧、脈拍とも低下 → 出血性ショック → 出血部位の確認、可能な止血処置、救急車を呼ぶ → 救急車

呼吸状態 → 浅くて早い過呼吸 → 過換気症候群 → 症状: 過呼吸、四肢のしびれ、けいれん、息苦しい、息ができない、不安感の訴え、対処、処置: 呼吸を再呼吸、不安感の除去、声かけ: 大丈夫です、すぐに楽になります、安心して下さい、薬剤投与: ホリゾン 10mg静注 → 救急車

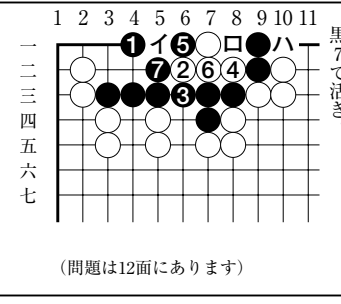
呼吸状態 → 浅くて早いO₂吸入 → 疼痛性ショック → 症状: チアノーゼ、冷汗、浮腫、めまい、四肢の弛緩、吐き気、対処、処置: ネクタイ、ベルトなどをゆるめる、O₂吸入、経過をみる、薬剤投与: 硫酸アトロピン → 救急車

呼吸状態 → 苦しう、あえんでいるO₂吸入 → アナフィラキシー → 症状: チアノーゼ、冷汗、浮腫、めまい、四肢の弛緩、吐き気、対処、処置: ショック体位、O₂吸入、静脈路確保、薬剤投与: 昇圧薬(エフェドリン)、ステロイド(ソルコステフ) → 救急車

呼吸状態 → 苦しう、あえんでいるO₂吸入 → 狭心症・心筋梗塞 → 症状: 胸痛、背部痛、歯痛(下顎)、対処、処置: 静脈路確保、薬剤投与後3〜5分後経過をみて、変化なければ再投与後救急車を呼ぶ、薬剤投与: ニトロールスプレー、ニトペン舌下錠 → 救急車

(約七五%)と出血性脳卒中がある。ともに生命危機状態となるが特に出血性脳卒中は発症時に致命的状態になるので注意を要する。歯科医院における脳卒中の対応として七つの「D」を考える。発見(Detection)、出動(Dispatch)、搬送(Delivery)、救急外来入り口(Door)、情報(Data)、決定(Decision)、薬剤(Drug)である。はじめの三つの「D」は歯科医院でも行えるもので、一次救命処置の実施者に依存している。また、救急隊に對し脳卒中の可能性を通報すること、その後の搬送先の迅速な対応に繋がり、後続の四つの「D」に容易に移行し得る。脳卒中の発見として①顔面の弛緩②上肢の無動③異常な言語が挙げられる場合、脳卒中である確率は七二%である。ほかに過換気症候群・ショックおよび気道閉塞に對しての対処法を解説されました。

将棋解答
3二銀、同玉、1四角、同香、2二金、同玉、2一飛成、1三五、2五桂まで九手詰め。(解説) 2一飛成は2二歩、3二銀、3四五で、また2四銀は同玉、2一飛成、3四玉でいずれも詰みません。3二銀に3四玉なら4五飛成以下の早詰め。同玉に1四角が狙いの一手で、先に2二金とすると同玉、2一飛成、1三五、2五桂、1四玉と逃げられまず。同香に2二金から2一飛成で1筋に追い込み、吊るし桂の詰み上がりになります。(問題は12面にあります)



囲碁解答
黒1が好手で白2、4には黒5が大切な一手です。以下黒7までコウが正解。黒1で5は白1で死。黒5で6は白2で4黒5白ハは黒6白口黒7で活き。

中新先生の講演を聞いて改めて思う次第です。

『保険審査通信』に寄せられた相談事例

<第190例> 貧血の患者にフェリチン精密測定(150点)を 実施したところ、保険者再審があり、 フェリチン(80点)に減点された事例

1. 保険者 社会保険
2. 年齢 58歳 女性
3. 診療月 平成15年1月
4. 過誤調整連絡書の発行月：平成15年7月
5. 病名・診療開始月
 - (1) (主) 高血圧 平成12年12月16日
 - (2) (主) 甲状腺腫 平成12年12月16日
 - (3) (主) 糖尿病 平成13年1月20日
 - (4) (主) 胆石症 平成13年2月3日
 - (5) (主) 慢性肝炎 平成13年8月25日
 - (6) 貧血 平成15年1月23日
6. 該当月の診療実日数：2日

<主治医の意見>

貧血の成因を知るために、フェリチン精密測定(150点)が必要と考え、実施して請求したところ、フェリチン(80点)に減額されてしまいました。
150×1 → 80×1
平成15年1月診療分について保険者からの再審査請求があり、支払基金再審査部会が容認したものです。

<保険医協会のコメント>

第190例は、当月診療開始の傷病名「貧血」に対して「フェリチン精密測定」を算定したところ保険者から再審査請求があり、「フェリチン精密測定」から「フェリチン」に減額査定されたものです。

「貧血」の診療にフェリチン値をみることは、医学的には当たり前の診療行為です。本件の減額査定も、フェリチン測定そのものに対する査定ではなく、精密測定(150点)からフェリチン(80点)への経済査定です。

一般検査と、精密測定検査がある場合の算定方法はスクリーニング検査あるいは、それに近い目的の場合は、一般検査を算定するのがこれまでの普通のやり方でした。このような取り扱いに関しては、以前に石川県では、B型肝炎ウイルス関係の検査で最初の検査は低い点数のもので、そこで異常が出れば、精密測定を認めるという規定がありました。しかし、本件の「フェリチン」については特別の規定はありません。さらに、最近の臨床検査センター(本件主治医の委託先を含めて)は、「フェリチン」は当然精密測定するものとして、「フェリチン」(80点)の取り扱いをしていないところすらあります。

このような情勢を考慮すると、フェリチン測定に関しては、すべての検体で、高い点数を算定したからといって、このことを理由に減額査定できない情勢にあるものと思われます。ちなみに、中部地方の某県では、「フェリチン精密(150点)しか検査しないラボを利用している場合は、その旨のコメントがあれば認める」という取り扱いになっています。

以上のような検査情勢を考慮すると、委託先検査センターでの取り扱いがフェリチン精密測定のみであることを理由に再審査請求するのが妥当と思われる。

納得のいかない返戻、査定は

『保険審査通信』

でお知らせください

FAX:076-231-5156 E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

※保険審査通信は年に数回、会員医療機関に送付していますが、紛失した場合や追加が必要な場合は、保険医協会までご請求下さい。

医師とコ・メディカルのための講演会

テーマ 摂食・嚥下障害のリハビリテーション

能登・加賀両地区で開催します——

石川県保険医協会のシリーズ「医師とコ・メディカルのための講演会」は、昨年ご好評をいただいた「摂食・嚥下障害のリハビリテーション」を、今年も石川県言語聴覚士会との共催で、能登地区・加賀地区で開催します。

日曜日の午後カンヅメで勉強する半日集中講座です。昨年出席しそびれた方、もう一回聴いてみたい方、集中的に勉強したい方、どうぞお誘い合わせの上、ご参加ください!

(石川県保険医協会 学術・保険部)



開催日

- 《能登地区》10月5日(日) 詳細・右記参照
- 《加賀地区》10月19日(日) 詳細・右記参照

講師

石川県言語聴覚士会より

案内先

会員、公的病院、介護保険施設、訪問看護STなど

参加費

500円(両会場共)

参加申込

医療機関・施設名、参加人数、担当者名、電話番号をご記入の上、保険医協会までFAXでお申し込みください。お申し込みがない場合は、立ち席になりますのでご注意ください。

主催/石川県保険医協会・石川県言語聴覚士会

FAX:076(231)5156

お問い合わせは保険医協会・杉野まで。TEL:076(222)5373 (iskw_sugino@doc-net.or.jp)

能登地区

- とき 10月5日(日) 午後1時~5時
- ところ 七尾平安閣「王朝」
- テーマ
 1. 摂食・嚥下障害とは?
講師:諏訪美幸 (恵寿総合病院医療技術部言語療法課)
 2. 摂食・嚥下障害者への対応
講師:谷内節子 (恵寿総合病院医療技術部言語療法課)

加賀地区

- とき 10月19日(日) 午後1時~5時
- ところ 小松市民センター「視聴覚室」
- テーマ
 1. 摂食・嚥下障害とは?
講師:小森賢治 (加賀温泉病院リハビリテーション科)
 2. 摂食・嚥下障害のみかた
講師:中山さやか (やわたメディカルセンター言語療法課)
 3. 摂食・嚥下障害への対応
講師:後藤理子 (公立加賀中央病院リハビリテーション室)

個別指導開示資料で明らかに 選定理由はほとんどが“高点数”

今年も個別指導に関する行政文書の開示請求をしました。石川社会保険事務局への開示請求は今回で3年目になります。入手した資料に基づき本紙に掲載する解説記事は、保険医協会会員はじめ社保・国保審査委員、そして石川社会保険事務局の職員にも関心を持って読まれています。

今回開示された資料によると、平成14年度は個別指導は既指定分及び新規指定から概ね6カ月経過した保険医療機関とも未実施のところが多数残っています。〈表1〉にあるように既指定分の個別指導の実施数は医科4件、歯科12件だけしか行われませんでした。このため自主返還に応じた医療機関数の返還額とも例年を大きく下回っています。7月4日に開かれた第1回選定委員会議事録には「情報提供等による監査業務に関連した作業により、予定していた機関は延期扱い」と記載されています。このような場合、未実施の医療機関は翌年度繰り延べにはならず、従来通りの方法で指導対象医療機関を選定することになります。

〈表1〉平成14年度指導結果の概要

指導種類と結果	医科			歯科			薬局			合計		
	新規指導	個別指導	計	新規指導	個別指導	計	新規指導	個別指導	計	新規指導	個別指導	計
概ね妥当	8	1	9				10		10	18	1	19
経過観察	2	2	4	6	10	16	12	5	17	20	17	37
再指導		1	1		2	2					3	3
要監査												
合計	10	4	14	6	12	18	22	5	27	38	21	59
年間予定数	23	19	42	8	19	27	45	11	56	76	42	118

- ◇概ね妥当：診療内容及び診療報酬の請求に関し、概ね妥当適切である場合
- ◇経過観察：診療内容及び診療報酬の請求に関し、適切を欠く部分が認められるものの、その程度が軽微で、診療担当者等の理解も得られており、かつ、改善が期待できる場合
- ◇再指導：診療内容及び診療報酬の請求に関し、適切を欠く部分が認められて再指導を行わなければ改善状況が判断できない場合
- ◇要監査：指導の結果、「監査要綱」に定める監査要件に該当すると判断した場合

〈表2〉平成14年度 石川県における指導実施状況報告書(医科・歯科・保険薬局)

区分	指導を行った機関(薬局)の数	実施結果																			
		病院	診療所	計	薬局	指導を行った保険医、保険薬剤師の数	指導に伴って実施した患者調査	実施結果													
個別指導	医科	1	新規10 14	新規10 15	—	19	1	31	1	0	9	(1,441,303)									
	歯科	—	新規6 18	新規6 18	—	18	0	0	0	0	10	(98,082)									
	保険薬局	—	—	—	新規22 27	41	0	0	1	0	8	(356,860)									
集団指導	医科	1	0	1	—	98	(指導の方法) ・保険医としての心得 ・療養担当規則の説明 ・保険薬局、保険薬剤師として、今最も注意しなければならないことについて	(指導事項の概略) ・保険医としての心得 ・療養担当規則の説明 ・保険薬局、保険薬剤師として、今最も注意しなければならないことについて	1	0	9	(7)	(1,441,303)								
	歯科	—	—	—	—	—								—	—	—	—	—	—		
	保険薬局	—	—	—	1	300								—	—	—	—	—	—	—	
集団的個別指導	医科	8	31	39	—	39	(指導の方法) ・「保険診療(調剤)の理解のために」 ・療養担当(薬担)規則の説明	(指導事項の概略) ・「保険診療(調剤)の理解のために」 ・療養担当(薬担)規則の説明	—	—	—	—	—	—							
	歯科	0	38	38	—	38									—	—	—	—	—	—	—
	保険薬局	—	—	—	20	20									—	—	—	—	—	—	—

<注>「診療報酬の返還」欄のかっこ内には、国民健康保険分を再掲した。

平成15年度の類型区分(病院4区分、診療所11区分、歯科、薬局)ごとの指導対象医療機関数と平均点数を〈表3〉に掲載しました。〈表4〉にあるようにその選定理由は医科・歯科とも平成13年度に集団的個別指導を受けた保険医療機関のうち、翌年度の平均点数も上位より半数以上のところ(集団的個別指導連動高点数)が大半を占めています。このほか、医科では個別指導を受けた結果、歯科では厚生労働省との共同指導を受けた結果、再指導になったところが2件ずつあります。従って今回の開示請求では、「再指導」の理由以外で個別指導の対象になった場合は、その選定理由は集団的個別指導連動高点数であることが明らかになりました。

保険医協会では個別指導に選定された医療機関からの相談体制をとっています。個別指導の連絡を受けた場合の対応策についてサポートさせていただきます。遠慮なく協会事務局にご連絡ください。

〈表3〉平成15年度 類型区分別の個別指導の対象医療機関数と平均点数

類型区分	県内の医療機関数	個別指導の対象医療機関数	選定基準値	石川県医療機関の平均点数			
				平成15年度	平成14年度	平成13年度	
病院	一般病院	74	3	35,289	32,081	29,536	29,479
	老人病院	23	0	40,022	36,383	36,192	34,363
	精神病院	13	1	33,867	30,789	29,212	28,797
	臨床・大学・特定	5	0	54,188	49,262	50,181	48,480
診療所	内科1	343	9	1,320	1,110	117	1,091
	内科2	7	1	5,061	4,217	3,522	3,772
	精神・神経科	11	0	1,941	1,618	1,605	1,659
	小児科	61	2	1,093	911	940	958
	外科	77	3	1,535	1,279	1,285	1,300
	整形外科	45	1	1,489	1,240	1,234	1,246
	皮膚科	34	1	781	651	651	666
	泌尿器科	6	0	1,248	1,041	894	886
	産婦人科	39	2	1,176	980	1,034	1,044
	眼科	59	1	833	694	693	691
	耳鼻咽喉科	33	0	928	773	795	791
	歯科	449	18	1,473	1,473	1,462	1,454
保険薬局	293	12	1,095	913	857	826	

- ◇病院は入院点数。診療所、歯科、保険薬局は入院外点数。
- ◇平均点数の計算方法は、前年度4月～9月分の平均値(6カ月分合計点数÷6カ月分合計件数)と推定されている。
- ◇平均点数の対象レセプトは、病院が社保の本人・家族の入院分、診療所が社保の本人・家族外来分、小児科は家族外来分である。老人病院は老人保健法対象者を利用している。
- ◇選定基準値とは、石川県の類型区分ごとの平均点数に病院は1.1倍、診療所、歯科、保険薬局は1.2倍の数値を掛けたもので、基準値以上が個別指導の選定対象となる。

〈表4〉平成15年度の個別指導保険医療機関の選定理由(内訳)

選定理由	件数
平成13年度集団的個別指導連動高点数	22
平成12年度個別指導の結果、再指導(昨年度未実施のため)	1
平成14年度個別指導の結果、再指導	1
新規指定個別指導	36
合計	60

選定理由	件数
平成13年度集団的個別指導連動高点数	16
平成14年度厚生労働省との共同指導の結果、再指導	2
新規指定個別指導	14
合計	32

選定理由	件数
平成13年度集団的個別指導連動高点数	8
平成15年度厚生労働省との共同指導	4
新規指定個別指導	53
合計	65

指導に関する会員アンケートを行います

最近5年間で指導を受けた方に、その印象・感想などについてお聞きします。指導を受けたことがない方についても、お知り合いの先生などからお聞きになった内容についてお答えください。

「指導に関するアンケート用紙」は本紙に同封してお届けします。アンケート回答は、9月末までに保険医協会にFAXでお送りください。
FAX:076-231-5156

二〇〇三年度 医療・福祉問題研究会 総会記念講演

ハンセン病と人権をテーマに 病気の差別を解消するために

金沢大学大学院 椎野 徳子



写真左から司会の加藤賀代子さん、パネリストの筈雄二さん、同じく筈昭三さん、パネリストで筆者の椎野徳子さん

七月五日に石川県社会福祉会館で、二〇〇三年度医療・福祉問題研究会総会が開かれました。記念企画として、ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会会長代理の筈(こたま)雄二さんをお招きして、「ハンセン病と人権」をテーマに、病

七月五日に石川県社会福祉会館で、約百五十人の方が集い、ハンセン病に罹患していた母親が、初めて筈さんを抱きしめてくれたと嬉しかったというお話、そして家で療養していた母親が施設に収容するため無理矢理連れ去られ、その後家の内外を真っ白になるくらい消毒されたというお話は、とても胸が締め付けられました。

その後、筈さんは母親や兄と共に療養所で暮らすことになりましたが、療養所においては患者の食事の世話や看護を患者同士でさせられており、決して病気を治すための施設ではなかったと過酷な療養所での生活についてお話してくださいました。

そしてパネリストの一人、城北病院名誉院長の助(あさみ)昭三さんは、「ハンセン病と医学・医療」をテーマに、国の強制隔離政策の歴史や、それにより病

気に対する誤った認識が流布され差別が助長されたことなど、詳細にわたって検証してくださいました。今でもハンセン病に対する誤った認識が、社会からきちんと拭い去れていません。

医師の立場から、ハンセン病は感染力が非常に弱い病気であること、治療によって治る病気であることなど、正確なハンセン病の知識についてお話してくださいました。また、これらの医学的知見や国際的な風潮に反して、国が長年にわた

り強制隔離政策を続けてきたこと、さらに患者に対して断種手術や強制墮胎を行ってきたことを強く批判されました。

北陸小児糖尿病サマーキャンプへ歯科部が協力 歯周病講演会を開催 予防の大切さを知る一助に

三年前より、保険医協会歯科部の活動として「糖尿病予防のための啓蒙の大会」に協力しています。初年度は、十一月に開かれる「糖尿病週間・金沢地区の集い」に参加しました。

原告全面勝訴の判決を下されたいですが、真相究明、その後の原告団の運動により、国は控訴断念、判決確定となりました。この判決は、法的・社会的に大きな意義をもつものでした。何よりも、人として当然にもつては「社会」というものがない、と

私もパネリストの一人として、「ハンセン病訴訟と人権」について話させてくださいました。一九九八年七月に熊本地裁へ「らい予防法」違憲国賠訴訟が提訴されました。裁判では、国

による強制収容・終身隔離政策・それに伴う数々の人権侵害が検証され、そしてそれを放置してきた国の責任が追及されました。二〇〇一年五月に、熊本地裁は

判決が出て終わったわけではなく、学識経験者、専門家等が構成された、ハンセン病問題に関する検証会議が設けられました。そこでは、

重要なお話を書ききれないほど多数ありましたが、これを今後一つひとつ検証する必要があります。私たちが、「知らなかつた」「何もしなかつた」という過ちを、再び繰り返してはいけません。

裁判後には、療養所の入所者、学識経験者、専門家等が構成された、ハンセン病問題に関する検証会議が設けられました。そこでは、

重要なお話を書ききれないほど多数ありましたが、これを今後一つひとつ検証する必要があります。私たちが、「知らなかつた」「何もしなかつた」という過ちを、再び繰り返してはいけません。

決がでて終わったわけではなく、学識経験者、専門家等が構成された、ハンセン病問題に関する検証会議が設けられました。そこでは、

重要なお話を書ききれないほど多数ありましたが、これを今後一つひとつ検証する必要があります。私たちが、「知らなかつた」「何もしなかつた」という過ちを、再び繰り返してはいけません。

決がでて終わったわけではなく、学識経験者、専門家等が構成された、ハンセン病問題に関する検証会議が設けられました。そこでは、

2003年度版『病院マップ』訂正表

2003年度版『病院マップ』に次の訂正がありましたので、お知らせします。

- 柳田温泉病院 *11頁...療養病床等を有する病院一覧表の柳田温泉病院の病床数および療養病床の「144」を「180」に訂正。
●押水訪問看護ステーション *13頁...訪問看護ステーション一覧表の「押水訪問看護ステーション」を削除。
●浅ノ川総合病院 *80頁...表中の循環器内科担当医師の「弁谷」を「升谷」に訂正。
●宗広病院 *162頁...「診療科・各科責任者」表の「山内大輔」を「上田康博」に訂正。
●辰口芳珠記念病院 *312頁...「診療科・各科責任者」表の「整形外科」担当医師「相木一秀」を「高澤宏太郎」に訂正。

- *313頁...「外来診療時間・外来担当者」表の「整形外科」の担当医師名の「相木」を「高澤」に訂正(2カ所)。
*315頁...「医療相談係の内線電話番号の「552」を「333」に訂正。
●小松市民病院 *317頁...表中の整形外科担当医師の「三浦利則(スポーツ、関節)」を削除。代わりに「松田英三(リウマチ、関節疾患、脊椎)」および「長嶋恵子(外傷、骨折、関節疾患)」を追加。
●千木町ケアセンター *362頁...E-mailアドレス「BKA17AAW@wamnet.wam.go.jp」を「sengi-cc@po4.nsk.ne.jp」に訂正。
●特別養護老人ホーム大門園 *383頁...郵便番号「〒920-2362」を「〒920-2322」に訂正。
*383頁...「法人代表者 太田政義」を「理事長 林繁」に訂正。
*383頁...施設長「本多利男」を「牧野弘」に訂正。
*383頁...定員数「80床」を「88床」に訂正。
*383頁...デイ・サービスセンターの設置「(25名分)」を「(30名分)」に訂正。

2日目 第6分科会に保険医協会が協力

全国シェルターシンポジウム 石川2003

2003年11月1日[土]～2日[日]

石川県地場産業振興センター
(金沢駅西口よりバスで約10分)

開催テーマ DVのないまちづくりをめざして
～市民と自治体の協働～

タイムスケジュール

第1日目 [11月1日(土)]

- ・開場 (受付開始) [12:00]
- ・開会 [13:00]
- ・基調講演 [13:15→14:45]

テーマ 「誰もが安心して暮らしていくために」

講師 辛 淑玉 (株香料舎(コウガシヤ)代表 人材育成技術研究所所長 明治大学政治経済学部招聘教授)

・シンポジウム [15:00→17:00]

テーマ 「DV防止法の実効性を求めて」

DV防止法の改正に向けて、見直し作業が進んでいる。施行後、現場では何が起きていたか。市民と自治体の協働体制は。当事者参加を保障する実効性を求めて、現状と課題を踏まえ、提言のための論点を話し合う。

[コーディネーター] 広岡 立美 (石川おんなのスペース副代表) (石川県議会議員)

[シンポジスト] 戒能 民江 (お茶の水女子大学生活科学部教授) 大津 恵子 (女性の家HELP ディレクター) 中村 俊夫 (石川県女性相談支援センター所長)

・交流会 [19:00→21:00] ※ひとり4,000円

[主催] 全国シェルターシンポジウム石川2003 (SSI) 実行委員会 / 全国女性シェルター・ネット [後援] 石川県 / 金沢市 / 七尾市 / 小松市 / 羽咋市

●参加費 / 6,000円 (1日のみ 3,000円) ●保育あり (要予約)

◎2日目の第6分科会に、高松弘明名誉会長がコメントーターとして出席します。多くの会員のご参加をお待ちします。
◎参加申込方法など、詳しくは同封の案内チラシをご覧ください。案内チラシの2日目のタイムスケジュールは上記に変更になりましたのでご注意ください。(お問い合わせは事務局の杉野まで TEL 076-222-5373)

第2日目 [11月2日(日)]

- ・開場 (受付開始) [9:00]
- ・分科会 [9:30→12:00]
 - ①DV防止法の見直し(活用)に向けて
 - ②シェルター運営と行政との連携
 - ③二次被害の現状
 - ④外国籍の人へのサポート
 - ⑤支援者のためのセルフケア
 - ⑥医療機関との連携 (協会が協力します)
 - ⑦傷ついた子どもへのケア
 - ⑧DV防止法を使いこなすために (司法支援)
 - ⑨高齢者・障害者へのサポート

・昼食 [12:00→13:00]

・全体会 [13:00→13:55]

- コメントタイム (フリートーク)
- アピール採択

・閉会 [13:55→14:00]

- 全国女性シェルター・ネット 総会 [14:00→15:00]

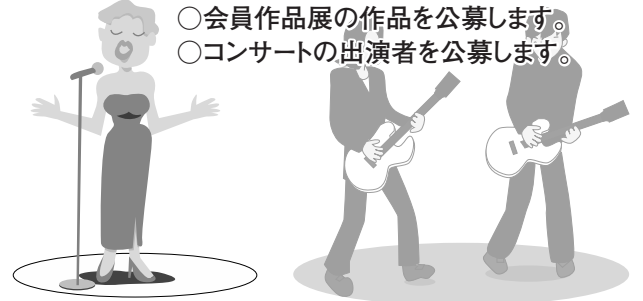
石川県保険医協会 ほろ酔いコンサート & 会員作品展のご案内

とき 11月16日(日) 午後5時～午後7時半(予定)

ところ 金沢都ホテル 5階

参加費 お一人 5,000円 (食事・フリードリンク付き)

- 会員作品展の作品を公募します。
- コンサートの出演者を公募します。



●詳しくは、後日、案内チラシにてお知らせします。

すべての人の心に花を...

野田淳子 内灘コンサート

with 佐久間 順平(Guitar & Violin) 笠原 智緒(Piano & Keyboard)

とき 2003年10月4日(土) 開場 PM6:30 / 開演 PM7:00

ところ 内灘町文化会館 大ホール 石川県河北郡内灘町大清台 140番地 / TEL (076)286-1123代

参加費 大人 1,800円(当日2,000円) 小中高 1,000円

主催 野田淳子内灘コンサート実行委員会 後援 内灘町教育委員会、北陸中日新聞、石川テレビ 豊かな心を育む内灘町民会議

問合せ 塩谷 / TEL/FAX (076)289-3533 原田 / TEL/FAX (076)289-5148 メール / hararan@pastel.ocn.ne.jp URL / http://www2.ocn.ne.jp/~hararan/nodajunko.html

早川ドクターの

山三昧



【第19話】 ギャラリー

早川 康浩 (金沢市・内科)

山を始めた当初は写真なんてまるで興味が無く、山行に写真機を持っていくことはなかった。しかし山行を積み重ねるに連れ、使い捨てカメラ、コンパクトカメラを持って写真を撮るようになっていった。山の中で最も美しい風景に出会うことも多くなると、ぜひともこの千載一遇のチャンス写真を撮りに収めたい手はないと、当時の一眼レフカメラでは最高峰とされたキヤノン New F1 を購入することになった。交換用のレンズもいくつか持ち、三脚を含めると重量はかなり重くなっていた。まして山岳写真が最も映える山の朝焼けや夕焼けの写真を撮ろうとすると、山中でテント泊をすることが避けられず、すべての装備の上に写真装備を担ぐ冬山の写真山行などになると、三十キロ近い荷物を担いで黙々とラッセルを



医院待合室にあるギャラリー

と考えると、開業を考えたころ、開業した時にはぜひとも待合室に山で撮影したお気に入りの写真を飾る本格的なギャラリーを作りたいと夢を膨らませていた。夢は三年前に現実のものとなり、開業に合わせた設計士に医院待合室にギャラリーを作ってもらった。個々の写真にスポットライトまであたる本格的なものであった。

山岳写真ほど過酷で根気と体力のいる写真はほかにあるまい。冬山の朝焼けや夕焼けの写真などは、まさに僕にとって一枚一枚が命がけで撮られたと言っても過言ではない。だから山の写真を見ただけの場合に、その写真一枚の背景にどれほど苦労があったかというのを少しは理解して欲しいと期待するわけである。このようにして撮影された貴重な写真を眠らせておくのはもったいない。開業後、このギャラリーの評判はすこぶる良いようであり、診察そっちのけでギャラリーの写真だけを見せたいとの問い合わせも多く、そのような場合は受付に断らなくても気軽に勝手に見てほしいとお願いしている。遠く県外から噂を聞きつけて写真を見に来た方もいた。ギャラリーの写真はその年に撮影したお気に入りの納得のいくものだけを大角にまで引き延ばして飾っている。再来患者さんに同じ写真ばかり飾ってあると言われないためにも、季節ごとにために写真は交換しているし、入れ替えの写真を撮影するためにせっせと山にも通っている。いつまで体力が続くかは分からないが、体力と気力の続く限りギャラリーの写真を入れ替えていこうと考えている。



おサル先生の 在宅医療入門

51

小川 滋彦(金沢市内科)

『往診かばんの中身は?』の巻(その二)

うっかりしておりました
が、今更と毎週日曜日の
午後七時よりNHK教育で
「サンダーバード」の再放
送をやっているそうです。
実は、DVDで全巻そろえ
て見ていたので、テレビ放
映の件は本当に失念してい
たのです。

ム入りです。

瞬時に察知できます。私の
使っている携帯用のもの
は、十万円弱で入手でき、
金沢市の夜間急病センター
にも同型のものが置いてあ
りますので、手に取ってご
覧いただいたらよろしいか
と存じます。ただ、最近
在宅の患者さんで自分用の
ものを買って持っている人
がいて(敵もさるものじゃ
あ)、あまり自慢にはなら
ないかもしれません。

●新兵器・パルスオキシメ
ーターは必須です。医師会
報の新年号で、大川義弘先
生が書いておられました
が、本当に重宝します。発
熱で往診して、SpO2が九
十を切っていたら、まず肺
炎を疑って、入院を説得す
る根拠になります(個人的に
はレントゲンに匹敵する
あ)、あまり自慢にはなら
ないかもしれません。

●注射薬ですが、救急薬と
してはボスミン(アナフィ
ラキシー対策です)だけ入
れておきます。以前は、キ
シロカインの注射薬やセジ
ラニドも入れておりました
が、往診してその場で使う
にはちょっと勇気が要りま
す。腰痛で動けないので往
診してほしい、という要請
は内科医の私にも案外あり
ます。無難な注射として、
ネオラミン・スリービーと
ノイロトロピンを注射して
くれることがあります。骨粗
鬆症用のエルシトニンも、
腰痛軽減の急性効果もある
というので、これらはいっ
しょに入れてあります(こ
の辺りは整形外科の先生方
ご教示ください)。ザルソ
ロンなどの解熱消炎鎮痛剤
はショックでも起こされた
ら大変なので入れてありま
せん。

●内服薬は、院外処方にし
たので今は持って歩いてい
ません。昼間なら後で薬局
から届けてもらいます。で
もニトロペン必須です
ね。

●採血管と注射器、駆血帯、
アルコルワッテ入れ、プ
ラッドバン(小さいバンソ
ウ膏)、そしてヒポクラテ
スのハリボン(小型の使用
済みハリ入れ)、汚物入れ
用のビニール袋等々。処置
用に使って捨てのイソジン
棒、一枚ずつ包装した滅菌
ガーゼ。摘便するのに、キ
シロカイン・ゼリーと手袋
を数セット(二枚重ねで使
いまししょう)。往診で摘便
すると大変感謝されます
(診察室がしばらく使えな
くなるので、来院してもら
ってするよりいいかも)。
●電子体温計。老人世帯で
体温計を持ってないご家庭

●まず、当然ながら血圧計
と聴診器。血圧計は、目盛
が円形で携帯用のもの。聴
診器は学生時代にクラスで
共同購入したもので、ネー
ム入りです。

●そして、紹介状と封筒。
見ず知らずの患者さんの初
診往診は、結局、病院に救
急搬送するケースが多い。
病院マップのコピー、せめ
て各基幹病院の電話番号簿
を。病院の帰りはタクシー
に乗らなきゃならないの
で、小銭を忘れずに。運が
良いと帰りも救急車が送り
届けてくれることも。

●電子体温計。老人世帯で
体温計を持ってないご家庭
が数軒ありました。それか
ら、ペンライトと予備の電
池(大事な時によく電池切
れします)。舌圧子は木製
のデイスボを。最近では用
に台所から匙を持ってきて
もらいます。

何か大事なものが抜けて
いるような気がしますね。
皆さんはいかがされていま
すか。次回は、お待ちかね
「サンダーバード二号」を
ご紹介します。



うちのサンダーバード1号

コンサート

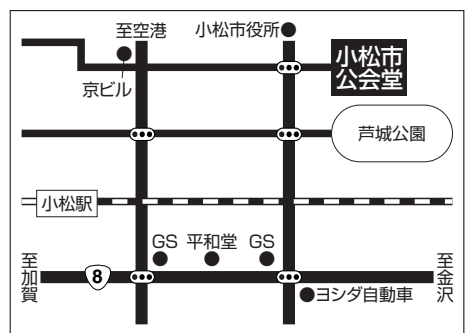
魂のいちばんおいしいところ

小松市で人工呼吸器をつけて在宅療養をされながら、ALSのことを広く大勢の方に知っていただきたい。人工呼吸器をつけて体は不自由でも幸せな日々を送れることを伝えたい。そう話される西尾健弥さんの思いをコンサートという形で実現しようと健弥さんとボランティアの仲間達がはじめたのが、魂のいちばんおいしいところ。
そんな思いを受け止めてくださって、詩人の谷川俊太郎さんと息子さんの谷川賢作さんを中心に、生きることのいのちのことを詩の朗読や音楽や講演を通じて私たちにかけがえのないメッセージを送っていただき続けています。
健弥さんが亡くなられて4年がたちました。仲間達の中心メンバーだった方々も結婚や育児など人生の節目の時期を迎えています。今、ここからできることについて、いつもコンサートを支えてくださっているスタッフと話し合いを持ちました。コンサートは、大切なメッセージを伝えることができるかけがえのない時間。スタッフそれぞれにも意味のある会だからこれからも続けていきたいことを共有しました。

- 日時 9月28日(日) 12時開場
13時開演、15時30分終演
- 場所 小松市公会堂
- 会費 一般前売り 3,000円(当日3,500円)
学生前売り 1,500円(当日2,000円)
- 出演者 谷川俊太郎(詩人)、谷川賢作(ピアノ)
木村 弓(歌、堅琴)、覚和歌子(詩人)
小幡 亨(パーカッション)

【主催】ALSと仲間達(難病を支えるボランティアグループ)
【後援】日本ALS協会石川県支部、石川県南加賀保健福祉センター
小松市・小松市教育委員会、小松市社会福祉協議会、雲母書房

●お問い合わせ
(コンサート事務局)
西尾知子
TEL・FAX
0761-23-3806
(ALSと仲間達事務局)
榎原千秋
携帯 090-2370-9839
FAX 0761-23-7307
E-mail:sakaki-h@tvk.ne.jp



第5回 北陸PEG・在宅栄養研究会の ご案内

下記要領にて「第5回北陸PEG・在宅栄養研究会」を開催いたします。
特別講演には、鹿児島県でPEGとNST(栄養サポートチーム)をキーワードに地域医療を盛り上げているリーダー、昭南病院外科部長・有本之嗣先生をお招きする予定です。

- 期 日 2003年11月22日(土) ●15:00~18:00
- 会 場 石川県地場産業振興センター 大ホール
金沢市鞍月二丁目一番地
(TEL. 076-268-2010、http://www.ishijiba.or.jp/)
- 特別講演 「PEGからNSTへ—地域ぐるみの栄養療法—」
有本 之嗣 (医療法人愛誠会 昭南病院 外科部長)
- 一般演題 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)および
在宅栄養法に関する演題
- 代表世話人 金沢大学がん研究所 腫瘍外科 当番世話人 公立丹南病院 内科
磨伊 正義 伊藤 重二
- 事務局 小川医院 小川 滋彦 (TEL. 076-261-8821)

いしかわTEACCHプログラム研究会主催

『自閉症の療育—将来的自立を目指して』

講演会のお知らせ

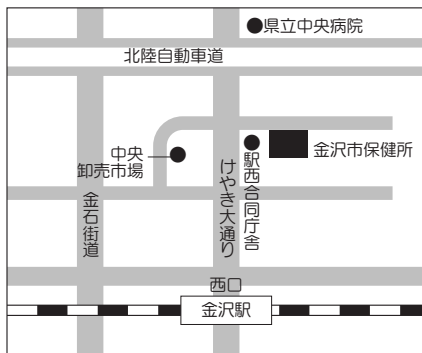
TEACCH(ティーチ)プログラムとは、世界的に普及し、定着しつつある自閉症の人たちと私たちが共存しあう為の教育・福祉・生活の手だてやアイデアを提供する為のプログラムです。(Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped CHildrenの略称。「自閉症並びにその周辺する領域にあるコミュニケーション障害の子供達の治療と教育」)自閉症といっても、その人その人ですから、びたりと合うことが教科書に書いてある訳ではありません。ただ、自閉症という脳の障害を理解することで、有効な、ある程度共通した手段があります。それを学び、小さなことから実践することが支援者に求められます。

このプログラムが誕生したアメリカのノースカロライナ州では成人の自閉症の実に99%の方が家庭やグループホームなどを生活の基盤にして地域社会で生活しています。

今回お呼びする諏訪利明先生が園長をなさっている海老名市立わかば学園は、先日のNHKの教育テレビでも紹介されたTEACCHプログラムを取り入れた療育を行っている通園施設です。諏訪先生はTEACCHプログラム研究会理事として全国各地で講演活動やTEACCHプログラムトレーニングセミナーのトレーナーとして活躍をされている、大変お忙しい方です。今回金沢で講演をしていただくにあたって、是非、将来を見通した療育のあり方について具体的にお話ししていただくことをお願いしました。たくさんのご経験からの具体的なお話、そして今支援者に何が求められているのかをお話ししていただきます。是非たくさんの方の参加を期待しています。

日 時 2003年11月16日(日)・午前9:15~11:45

場 所 金沢市駅西健康ホール「すこやか」
(金沢市保健所3階 金沢駅西合同庁舎隣) 金沢市西念3丁目4番25号
TEL:076-234-5110 ※駐車場あります



講 師 諏訪 利明氏
(神奈川県海老名市立わかば学園園長)

会 費 1,000円
(会費は当日 受付にお持ち下さい)

●申し込みは氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記の上、Faxをお願いします。
申込先:木崎 伸子

Tel. Fax. 076-274-1946

第15回 石川県高齢者大会

記念講演

「福祉の人間学入門」

日 時 10月25日(土)
13:30~16:30

場 所 ラポート兼六(兼六園下)

内 容 第1部(13:30~) 記念講演
第2部(15:00~) 活動交流等

講 師 住民流福祉総合研究所代表
木原 孝久氏

1941年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。福祉施設職員(救護施設、展示図書館等)、福祉医療関係の雑誌の編集記者、中央共同募金会勤務を経てフリーに。その間、「わかるふくしネットワーク」を主催、20数年間にわたり住民流の福祉のあり方を追い求める。著書に「わかる福祉の発想」「銭形平次はボランティアだった」「福祉の人間学入門」「日本の福祉—10の宿題・239の事業提案」など多数。

主催: 石川県高齢者運動連絡会

連絡先 石川民医連 TEL 076-253-1458
FAX 076-253-1459

後援: 国際高齢者年・石川INGO

連絡先 石川県保険医協会 TEL 076-222-5373
FAX 076-231-5156

What the 「自閉症」

12回シリーズ・その③

NPO法人日本ポーターズ協会
石川湖南支部 認定指導員 出村 正栄

●自閉症の不思議な世界(その1)

~その不思議な世界の謎解き~

ある自閉症児がカメラを片手に水族館へ行きました。何が写っていたかと言いますと、ステンレスの手摺り・湾曲した灰皿など、キラキラ光る美しい世界だったとか。

前回ご紹介しました高機能自閉症のドナ・ウィリアムズさんは講演で、幼いころ、床と壁と天井の始まりと終わりの区別が付かなかったと話していました。彼女は投薬と食事療法とサプリメントの使用が効果的であり、赤色のサングラスを掛けると物がまとまって見えるようになったそうです。ずっと人の顔がジグソーパズルをバラバラにしたように見えていて、目を見ると目のみ、口を見ると口のみが見えるので、顔の識別や記憶が難しかったそうです。

しかし、顔認識に問題のない、むしろ得意な人もいます。一般的には幼児期、毎日通っている保育園の道順が変わると、混乱して怒ったり泣いたりすることが多くみられます。それは、違う道でも同じ場所に行けることが理解できないために起こります。ある子は自動販売機、ある子はガソリンスタンド、ある子はコンビニ、ある子は道路標識と、その子なりの見方と、独特の空間認知で法則のように場所の理解をしていると、少しの違いで不安に陥ります。その場合、あらかじめ行き先の写真を見せると、どの道を通っても保育園に行くよと、知らせることが出来ます。園の先生の顔写真よりもむしろ、気に入っている園のおもちゃや、いつも触る物、遊具

や特定の場所の写真が分かりやすいようです。お店に行く時は、チラシでロゴを切って貼ったボードを使用している子もいます。たったそれだけで、出かける時の親子の不安やストレスを軽減できることがあります。

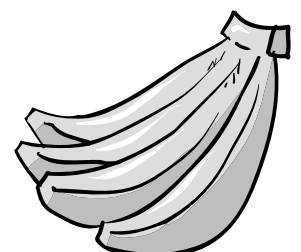
前回も申し上げましたが、自閉症は情緒の障害ではなく認知の障害です。狭く深い興味と視覚的な記憶に頼っているために、誤解を招くことも、こちらの理解が及ばないこともあります。そして、その症状の出方は、同じ自閉症でも、人によってまったく違います。

後で、あれはそういう意味だったのか、と分かることもあります。「新幹線」という言葉を覚えた子が、突然道路で「新幹線」と言います。それはガードレールのことでした。また、コップを差し出して「新幹線」と言うのですが、それは牛乳のことでした。その子の「新幹線」は白くて流れのある様子だったようです。どう見えて、どう記憶し、どう捉えているのか、彼ら自身から学ぶほかありません。

また、ある子に「バナナは何色?」と質問しましたら、「黄色・黒・緑・茶色」と答えました。確かにバナナは黄色の単色なんかじゃありません。その子は物の名を覚えるのがとても苦手です。命名は、物を抽象化し、省略することで分類し、その特徴をとらえて、象徴することが必要なのです。反対に名詞はたくさん知っているのに、人とのやりとりには使えない子もいます。三桁の計算はできるのに、お皿のおやつが少ない・多いという概念が伝わらない子もいます。イメージの偏りがあり、コミュニケーションが苦手で、情報の処理の仕方が非自閉症の人とは違うのです。

ご苦労も多い自閉症の子育てですが、日々発見したり感心したりして、『自閉症の不思議な世界の謎解き』が面白く感じられるようになると、親御さんの気持ちは急に少し楽になるようです。

次回は「自閉症の不思議な世界(その2)」をお届け致します。



キャンパスインで開かれた、コース修了書授与式とパーティー



日本における私(中央)のインプラント治療の恩師である、糸瀬先生(左)と山道先生(右)



左からファイバーグ助教授、修了証と記念品を手にする私、ジアインノーブル助教授、ワン教授



ミシガン大学 Advanced Implant Surgery A Hands-On Training Course に参加して

第3回

講義、見学、実習に取り組んで夜には修了式とパーティーが

江守 道子 (金沢市・歯科)

コース三日目は、午前中フット(上顎洞挙手術)班にワン教授のインプラント周ジアイアンノーブル助教授のGBRとインプラント埋入を中心の講義があり、その後、ミシガン大学歯学部の手術室の見学があった。外歯周病教室、外来治療室、臨床研修医の笑顔の写りが名前と共に壁に貼られていた。数人の日本人もいたが、その多くは臨床研修医で、やはり大学院入学は英語を母国語としない私たちにとても難しいのかな?と

午後からは、いよいよ今まで講義で学んだことを模型実習で確認する作業に移った。大きな実習室では、参加者全員が三班に分かれ、それぞれの班での実習が終了した後、次の班へと移動するという方法だった。ワン教授の指導で行う、オトガイと下顎の上行枝プロックグラフト(骨移植)班、ファイバーグ助教授のサイナスリ

久しぶりに、学生時代に戻った気分を実習に取り組んだが、私自身は日ごろの臨床でインプラント埋入、GBR、PRPは取り入れられているため、比較的簡単に終わった。ただし、骨のプロックグラフトは模型では簡単だが、実際の臨床となると、手術侵襲も大きく、われわれのような開業医では、やはり少し無理があるように思われるので、今後導入予定はしていない。というのも、骨補填材のいいものが多く出てきているので、それらを使えばプロックグラフトをしなくても十分対応できると思

の事故などで骨や軟組織がないケースでも、残っている組織を利用して組織の再生ができる点において、現在のところ最も理想的な方法であると思われる。ただし、手術そのものがかなり難しいのと、使われる器具が高価なのが難点で、わが国でもようやく始まったばかりの治療方法である。

PRPは、日本では昨今の流行と言ってもいいが、ワン教授の言葉を借りれば、軟組織の治療は確かに良いということが証明されているが、骨の再生に関しては、いまだその因果関係ははっきりしないというところで、最近ミシガン大学歯学部の歯周病科では、サイナスリフト時に行う骨補填剤とミックスしていたPRPは、以前行われていたほどはやっていないとのことだった。と、言っても、今回の実習でも大きく取り上げられ、講義やデモがあったり、歯周治療などでは積極的に行われているようだった。

その日の夜は、われわれの宿泊しているキャンパスインで、修了書(サートイフイケーション)授与式とパーティーが催された。ワン教授をはじめ、指導してくださった先生方、裏方の女性スタッフ、そしてコースの受講者全員が参加して楽しいひと時を過ごした。ただし、ここでも日本スタイルが出て、コース参加者全員が、いくつかわら

た丸テーブルのイスに座ったまま動かないのに業を煮やして、ワン教授が「皆さん、立って多くの人たちと話しをしてください。」と一言、はじめてから終わりまで動き回っていた。傍には、コースの講師の先生方、女性スタッフがグラスを片手ににこやかに談笑しているのが対照的だった。

その時、私は、ワン教授に今年歯学部を卒業した末娘のアメリカ留学を相談したところ、"sure(もちろん)"と一言明快な答えが返ってきた。

去る八月二十一日に、アメリカの歯学部大学院入学を目指し、彼女は日本を立った。

(続く)

投稿

悲鳴をあげる仲間

会員全員の危機感が必要

(匿名希望)

来年度の診療報酬改定が、さらにマイナス改定になる心配がでてきた。

政府は、来年度の社会保障関連予算については自然増のうち約五分の一を削減して「診療報酬・薬価については、近年の物価・賃金の動向を踏まえて国庫負担を抑制する」と発表している。

そもそも、健保財政の悪化は国庫負担の削減が最大の原因であり、先進国の中でも日本の医療費のGDP

に占める割合も低く、このように状況下での医療費抑制は道理に合わないのである。

協会も、こういった事態を受けて今から準備を整えなければならぬと考える。

ここで、協会の存在意義とは何かのかをもう一度考えて、原点に帰る必要があるのではなからうか?

保団連の設立趣旨には、「保険医の生活と権利を守り国民医療の充実と向上を

はかる」と高く謳われているはずである。すなわち、会員の困った問題に正面から取り組んで共に解決に汗を流していくことに力をそそがなければならないのは当然と考える。今の状態では、まさにわれわれは脱力状態で不戦敗になりかねない危険な兆候が見られるのである。世間から見ると、医療人はともすれば社会的エリートと見られてきたが、もはやそんな状態ではなくなってきた。

具体的な例を挙げると、私の知人の診療所では、本年四月の改定以来、健保本人の三割負担の影響から軒並み二〇%弱の収入減になっている。そのため、従業者も正職員からパートに切り替えたり、別の医院で、常勤の職員をすべてパートにして、夕方からは、奥さんと先生だけで診療しているところもあるのである。

以上のような医療現場を直視すると、今までのような保団連幹部だけの陳情・要請ではもはや限界で、協会一人ひとりが、危機感を持って具体的な行動を起こさなければと思う。

今秋には、衆議院の解散、総選挙も予定されていることから、今の小泉改革に対して新たな医療改善につながるような逆風に対して、協会はしなやかに、しっかりと、しつこく、国民と医療者の共同を広げ、変化を後押しする取り組みを続けることが必要と思われる。

朋の時間～母たちの季節～

重度・重複障害というハンディをもつ人たちの地域生活を広げてきた通所施設朋が、母たちと歩んできた17年

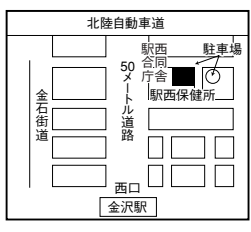
日時：2003年9月23日(火)祝日 午前の部:10:30～ 午後の部:14:00～

場所：駅西健康ホール「すこやか」 駅西保健所3階 金沢市西念町3丁目4番25号 TEL:076-234-5141

上映会費：大人 1,000円 小、中学生・障害のある人 500円 (前売りのみです。必ずチケットをお求め下さい)

主催：「朋の時間」金沢上映実行委員会 後援：石川県重症心身障害児(者)を守る会 石川県肢体不自由児協会 石川県手をつなぐ育成会、金沢手をつなぐ親の会

問い合わせ先：TEL (FAX) 076-222-2691 (松田) E-mail: tomojei@hotmail.com

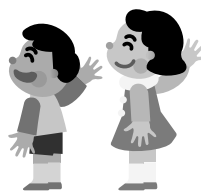


■ふれあい交流室(保育) 映画の終了までお子さまをお預かりします。ご希望の方はお早めにご連絡ください。問い合わせ先 TEL (FAX) :076-221-0560 (西田)

■作品の内容・配給に関するお問い合わせは 「朋の時間～母たちの季節～」上映事務局 TEL&FAX:03-3397-1914まで ■「朋の時間～母たちの季節～」公式ホームページ http://www.motherbird.net/~tomo_haha

子どもたちは今

「人間と性」教育研究協議会(3回シリーズ)



あなたらしく わたしらしく(その1)

それぞれの自立と共生をめざして

性教協石川支部会員 中谷 佳子

「人間と性」教育研究協議会(略称 性教協)が設立されたのは一九八二年。子どもたちをとりまく状況(特に性に関して)に対応するため、養護教諭・医師・助産婦・看護師・教師・保護者が連携し、科学・人権・自立・共生という視点で性教育について学んでいます。

日、広島市の繁華街、原爆ドームから徒歩十五分くらいにクリニックスを開業。二〇〇〇年十一月十八日までの十年間の患者数は二万八千七百八十人。初診時十代は四千五百三十七人、全体の二五・八%。十代のうち再来院を新たに一例とし、五千四百七十六例の受診。性交経験者は三千六百三十五例、六六・四%、無は千八百三十三例、三三・五%。十六歳で性交経験率は五五・一%、十九歳で八三・五%。性交の相手は非行や不登校と同様、特別な子の、特別な問題としかたえられていません。

性器が異常。自殺を考えた。小陰唇の正常な発育を異常だと。これは肝心の、目で見て、手で触れることのできる外側が教えられない。本当に悩むのは二十代から。何にもないのに恋人や結婚を諦めてしまった例も。性器を教えることがいかに大切なことか。男子はペニスの大きさを、勃起した時、四センチあればいいのに。講演後、質問

にきた三十代で未婚の青年が「四センチとは直径か?」と。自分の八センチだから、長さのほががなくていいのに雑誌などであおられてる。子どもが子どものうちに、性器が発育しないうちに教えてあげることが大切。身体を知ることが大切。初めて自分の身体をいとおしいと思える。若者の性は低年齢化している。でも知識はない。なぜか。私たちが性を真正面からさちつと伝えていないから。私たち大人自身の性意識が問われている。性はいやらしいもの、恥ずかしいもの、隠さなきゃいけない方、あんなものはない。子どもに性意識を伝えることはできない。子どもたちの多くは、いつかはセックスをするようになる。ならば素敵なセックスができる素敵な大人になってね、そういう意識をもって正面から伝えられる大人であってほしい。

今、子どもたちの生活には、様々なルートから歪んだ性情報が入り込み、望まない妊娠、性感染症、援助交際などが彼らの身近な問題となって迫ってきています。にも関わらず、それらは非行や不登校と同様、特別な子の、特別な問題としかたえられていません。

私たちは、子どもたち、そして自分自身ともしっかり向き合うため、年六回、学習会を企画し、学んでいます。その中から、今年五月の第十一回石川セミナー講演の内容を、紙面の許す限り、紹介します。講演は、河野産婦人科クリニック院長の河野美代子さんによる「十代の受診から見えてくるもの、伝えたいこと」です。

八%。職業別では圧倒的に社会人が多く、千九百八十六例、約六〇%(私は必ずしも手を尋ねません)。訴えでは、まず、月経のトラブル。体重減少性無月経、四百二十五例。ダイエツトブームは困ったもの。月経困難症六百二十九例。次に身体や性の悩み、百六十二例。十代の女の子ではまず、毛深い、オッパイが小さい、引っ込んで、性器が異常の三つ。産毛を毛深いと思ひこんで

(続く)

☆☆☆性教協 行事案内☆☆☆

●テーマ●

スクール・セクシュアル・ハラスメントを考える

●講師●

北陸大学教員 柳本祐加子さん
スクール・セクシュアル・ハラスメント防止ネットワーク
北陸ブロック代表

●日時●9月21日(日)午後2時~4時

●場所●石川県女性センター 2階研修室
(金沢市三社町1-44 ☎263-0115)

●連絡先●末友まで

☎263-0607

E-mail: tuky@spacelan.ne.jp

●参加料●一般:200円

今年もピースデイ7.20を開催



平和の子ら像の前でピースサインを送る中学生たち

7月20日、金沢市卯辰山・原爆犠牲者追悼碑(平和の子ら像)前で開かれた「ピース・デイ7.20」にて、金沢市立南小立野小学校の5年生が読み上げた平和のメッセージを紹介し、被爆者の西本多美子さんが語り部となった被曝体験を聞いた時の感想文です。平和の子ら像に献げられたたくさんの折り鶴とともに、いのちの尊さを訴える「反核・平和おりづる市民のつどい」にふさわしい内容でした。一番輝いていました。

「この子たちの夏」が輝きつづけるように…… (神田)

(平和のメッセージ)

ぼくは、「はだしのゲン」や本を読んだりして、げんばくのことを、調べたり、する。だけど、本物のげんばくが、落とされ、広島が焼け野原になり、一人一人の、どんな物にも、かえられない命が、かんたんに、殺されていく光景。それは、げんばくにあった人しか、分からない。

ぼくは西本さんの話を、聞いて、こんなに、かんたんに、人が、殺されて、いいのか、と思った。一人一人は、三億分の一のかく率で、生まれてきて、一人も、かんたんに失っていけない命が、ものすごく、うばわれていった。殺された人の命は、何千年も前から、命のリレーをしてきて、こんなかんたんに殺されては、たまったもんじゃなと思う。

そもそも人の命は、親の物、おばあちゃん、おじいちゃん、そのせんで、若い人は、未来の息子、娘の物、そして、自分以外のぎせいになった精子や、そして自分の物。その大切な命が、うばわれていくのは、もう二度と、やっでは、いけないことだ。

それを体験した西本さんが、その話を長時間も、話してくれるのは、とてもつらいと思う。核を反対する人が、いなくなったら、世界は終り。そのために話をしてくれたのは、本当に感謝しないと、いけないことだ。これからも核や戦争に反対していきたいと思った。

ドキュメンタリー映画

HIBAKUSHA

AT THE END OF THE WORLD

ヒバクシャ 世界の終わりに

日時 2003年10月4日(土)

13:30~鎌仲ひとみ監督講演
14:00~映画上映

場所 石川県教育会館
3階ホール

※開場は13:00です

料金 一般前売り
1,000円
(当日 1,200円)

中高生
500円

※小学生以下無料



© Etsuko Nagai

【主催】「ヒバクシャ」金沢上映実行委員会

【連絡先】小原 TEL/FAX 076-240-0413

【後援】石川県、金沢市、石川県国際交流協会
金沢国際交流財団、金沢YMCA

【協力】石川県原爆被災者友の会
核戦争を防止する石川医師の会

絵心

安藤 良一 (金沢市・内科)

会員リレーエッセイ

社会人に欠かせない、または職業上で必要な仕事をしている間は好むと好まざるとに関わらず、なかなか心の余裕が持てないのは誰しもだろう。だから、性格にもよるのだろうが仕事や雑用に追われている時に、少しの空き時間ができても、ほんやりと過ごせない。つかの間の空白が惜しいと思ひ、大げさな言い方をすれば、心の糧を求めてさまよう。人によっては散歩したり音楽を聞いたり酒を味わったりといろいろだろうが、今の私は画集を眺めるか絵筆を持つことが多い。

もともと絵画は好きだった。中学校のころ、いちばん成績が良かった課目は美術だったと記憶する。医者継がなかったら美大を受験したかも知れない。

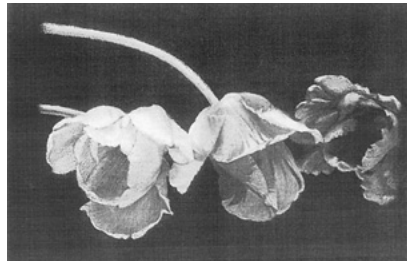
い。だが今になって悔んでいるが、意欲と根気が足りない性格が災いして、大切な趣味として一貫した努力を積みまなかったのが、ものにならずに今日に至っている。

絵画にもたくさんさんのジャンルやテクニクがあるわけで、長い年月の間にいろいろの方法に挑戦してはみた。何人かのプロに師事して、水彩、油彩、水墨、鉛筆画、シルクスクリーンなどを少しずつつかじつたが、結局、人さまに見せるほどの作品は残していない。

今は、パステル画に凝っている。数年前から始めたが、このテクニクは結構面白い。仕事の合間の気晴らしとして一番のメリットは、作業の開始も中断もすぐできるし、溶剤の液体が不要で乾燥時間もなく、周りを汚さないから後始末が楽なのである。それでいてパステル材の性質上、濃淡の表現は油絵に近いくらい可能で修正も確実にできる。作品として決められた大きさはないから、紙のサイズに合わせて額縁に収めれば足りる。

そんなわけで、休診時間帯や休日は展示会をハシゴしたり、本屋の美術書棚で立ち見をする。作家物

を購入するほどリッチでないから、画集や写真集を求めて帰り、気に入った絵や場面を手本にして書く。こんな内輪話を披露すれば、誰方から「オイオイ君、それはないだろう。どんなアートでもオリジナルが鉄則、人まねなんて。だいいちそんな方法ではモチーフの表現は不可能だよ」。そうですね、おっしゃる通りでよく分かってはいるが、私の感性は創造するまで熟していないし、テクニクが上達しないと納得のいく成果が得られないことも知っているので、目下修練中ということ。



作品の引き合いがあるのは親戚すじだけだからカネにならない。奥方におだてられて、暇があるとエッセイと書き貯めているだけだ。幸いなことに理智が頼りの科学と違って、芸術には年齢制限が無いようなので、「絵心」を頼りにこれからのんびり画いていこうと思っている。

音楽夜話

ポケットにひとにぎりの音楽を

【第十九夜】病室の「アビーロード」

またまた個人的な音楽の思い出を語ろうと思う。医道大会を催しているのだから、人数が足りない。助けがほしい。親友の頼みだ、断る訳にはいかない。ジャージを柔道着に着替えて会場に着くと、もう対戦相手は待っていた。「なんだ、後輩の柔道部員じゃないか、あんな大きな奴とやるのはかなわんな」。いや、適当にやってくれればいいさ。親友とそんなひと言ふた言を交わし、その大男と組んだ。

柔道は嫌いじゃないし、得意の一本背負いは大きな奴に効く技だ。今年はスキ

一部のキャプテンとして四月から鍛えに鍛えた足腰もある。柔道部の黒帯ごときに臆するものか。「適当に」と言われても、そうできない生来の負けん気が災いした。もみ合っているうちに、すきをみてかけた背負い投げがはずされて、彼の下敷きになった。首が曲がって大きな音がした。耐え難い激痛であった。体育館に響

柔道は嫌いじゃないし、得意の一本背負いは大きな奴に効く技だ。今年はスキ

と親友に頼んだ。怪我の元質を編集によって微妙に変化させている。一曲のエンディングから次曲のイントロへの変化に富んだつなぎ方が、印象的である。あらゆる意味を包括しているよう

柔道は嫌いじゃないし、得意の一本背負いは大きな奴に効く技だ。今年はスキ

「アビーロード」を聴き続けることになると思っ

柔道は嫌いじゃないし、得意の一本背負いは大きな奴に効く技だ。今年はスキ



囲碁

■出題 九段 佐藤昌晴

黒先コウ 5分で高段者
(ヒント) 初手が眼形の急所。

(解答は3面にあります)

■出題 六段 高田尚平

持駒 金銀桂

(ヒント) 1筋に追い込む形に。10分で一級。

(解答は3面にあります)